

発行所 **紀南新聞社**

〒647-0043
和歌山県新宮市緑ヶ丘
2丁目1番33号

購読に関するお問い合わせ
TEL0735-22-4646

授業数不足で登校日

新宮市立の中学3年生

新宮市立中学校は3日から7日まで、3年生を対象に登校日を設けて授業を行う。コロナ禍の影響で臨時休校となったことや、卒業式の日程によりほかの学年と比べて授業数が不足することから実施。いずれも午前中のみ。

このうち城南中では、5教科を中心に授業を実施。例年よりも履修が遅れており、1学期に残った単元は登校日や夏休み

明けの17日から進めていくという。感染症や熱中症予防としては、▽検温▽手洗い・うがいの徹底▽マスクの着用▽ドアを開けながらクーラーを使用などの対策が講じられる。

初日となった3日は、学力テストや人権作文に取り組む時間が設けられた。生徒会長の鈴森壮一郎くん（3年）は、「1学期は勉強に遅れが出る

など、非常に残念だった。コロナ期間中に勉強の差が出ると思っているの、予習や復習など毎日勉強は家で欠かさずに行っていた。登校日ではより多くのことを学び、受験に向けて頑張っていきたい」と話した。

中田善夫校長は、「本校独自で、毎年1学期が終了したあとに3日間ほど補修期間を設けていたので、3年生は準備ができていたのでは。クラブ活動も終了したので、受験に向けて切り替えて勉強を行う生徒を、できる限りサポートしていきたい」と語った。（香川真夕）

「受験へ頑張りたい」



人権作文に取り組む3年生(城南中)